

今週のトピック – 2016年10月6日

グローバルな経済成長が金利上昇につながる可能性

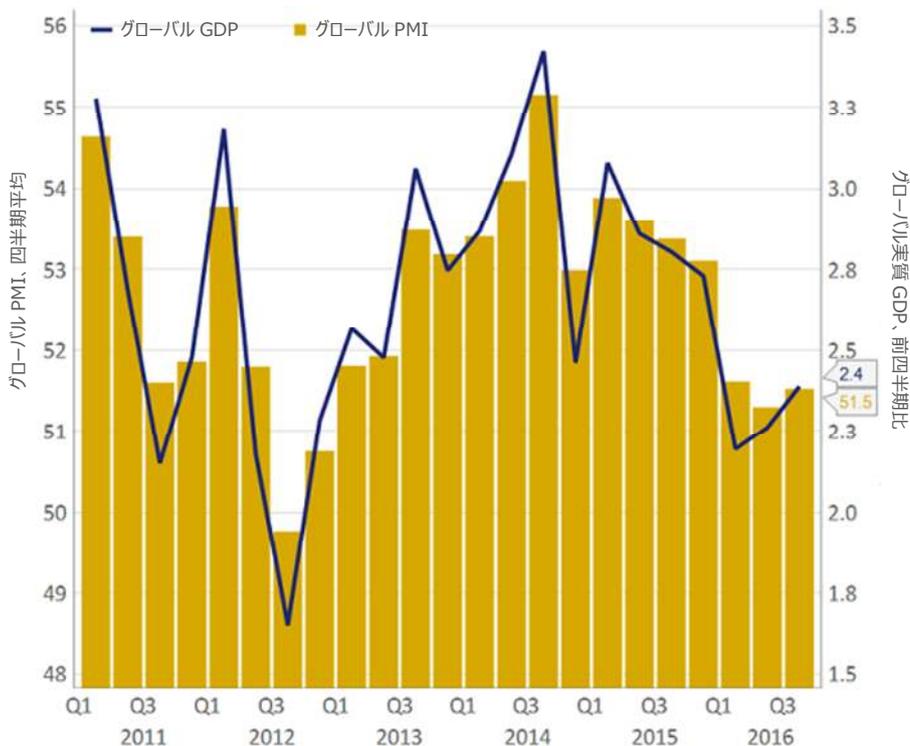


デビッド・ライリー

パートナー兼クレジット戦略ヘッド

ブルーベイでは、9月のグローバル製造業購買担当者景気指数 (PMI) はグローバルな経済成長の緩やかな成長を示し、7～9月期のグローバル経済成長率は過去平均を下回るものの、前四半期比+2.4% (年率) になると予想しています。下図が示すように、グローバルな経済成長は2016年の1～3月期に大きく鈍化し、これにより米連邦準備制度理事会 (FRB) は利上げを見送り、日本銀行及び欧州中央銀行 (ECB) は追加の金融緩和策を発表するに至りました。中国では財政及び信用緩和により経済成長が押し上げられましたが、他のエマージング諸国の経済成長見通しにも改善が見られました。直近のIMFの予想では、エマージング経済の高い成長を主因として、2016年10～12月期及びそれ以降グローバル経済の成長は加速することが見込まれています。

グローバル PMI と実質 GDP (前四半期比、年率%)



出所: Macrobond, BlueBayによる計算; 2016年9月の直近の月次データ

量的緩和とマイナス金利により、債券の利回りと実体経済には乖離が見られています。グローバル経済の成長は2016年1～3月期以降回復が見られますが、主要国債金利は低下しています。しかし、もしグローバル経済の成長見通しが改善を続ければ、ファンダメンタルズ面が長期金利の上昇圧力を招く可能性があると考えています。

グローバル PMI と米 10 年国債金利



出所:Macrobond; 2016年9月

ブルーベイ・アセット・マネジメント・インターナショナル・リミテッド
 関東財務局長（金商）第 1029 号
 加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会

本資料は受領者への情報提供のみを目的としており、特定の運用商品やサービスの提供、勧誘、推奨を目的としたものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。本資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成しておりますが、当社がその正確性、完全性、妥当性を保証するものではありません。記載された内容は、資料作成時点（2016年10月7日）のものであり、今後予告なく変更される可能性があります。過去の実績及びシミュレーション結果は、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。なお、当社による書面による事前の許可なく、本資料およびその一部を複製・転用・ならびに配布することはご遠慮下さい。当社と金融商品取引契約の締結に至る場合には、別途「契約締結前交付書面」等をお渡ししますので、当該書面等の内容を十分にお読みいただき、必要に応じて専門家にご相談の上、お客様ご自身のご判断でなされるようお願いいたします。